

防衛大学校准教授の相澤輝昭くんは防衛大のクラスメイトで、ヨット部でも一緒だった。主将の私がレースや合宿の計画を立て、彼は主務として調整をこなし、穏やかな雰囲気でも面倒見が良い彼の人柄に何度も助けられた。

引退を間近に控えた大学4年の大会を思い出す。昼過ぎに江ノ島沖を出航し、大鳥を回って翌朝に戻るレースだったが、夜になり海が大荒れした。風も波もひどく、下級生は船酔いし、ぐったりしていた。すると彼が「波は朝には収まる。みんなのためにおにぎりを握ってくるよ！」。大きく揺れる船の中での手元の作業は船酔いしやすく大変だったはずだ。私は舵を担当し、なんとかその晩を乗り切り、明け方に虹を見ながら二人でおにぎりをほおばったのが忘れられない。

卒業後、私は外資系半導体メーカーに入った。彼は海上自衛隊で掃海隊司令を務めた。現職では「自由で開かれたインド太平洋」を研究し、映画「ゴジラー1・0」の監修に協力するなど活躍している。お互いに世界と日本の架け橋になっていてうれしい。

防衛大の同期とは毎年5月に横浜で手漕ぎボートの大会に出ている。終わると腕がパンパンだ。来年は相澤くんもぜひ来てほしい。(かんべ・はじめ|インフイニオンテクノロジーズジャパン社長)